

■凡例：

- ・(学)：学校施設検討部会
- ・(子)：子どもワークショップ
- ・(教)：アンケート-教職員
- ・(保)：アンケート-保護者
- ・(地)：アンケート-地域
- ・(フ)：ファーマーズマーケット

2. 基本方針～こんな施設にしたい

(2) こんな学校にしたい

①三校の連携を大切にし、子どもたちの主体的な学びを育む学校

- ・クラスや学年、学校を超えた子どもたちの交流を促進し、豊かな心を育む学校としたい (学・教)
- ・これまで育まれてきた連携校の特色ある活動を継承し、発展していく学校としたい (学・教)
- ・日々進化する学習内容や学習形態・ICT 環境に対応できる多様な教育環境を整備し、子どもたちの成長に繋げたい (教・保・地・フ)
- ・対面やオンラインでの交流機会を積極的に創出したい (学・教・保)
- ・教職員 (三校・特別支援) の連携を促進する空間や運用を行いたい (学・教)
- ・三校連携を促進する空間や西巣鴨中学校の移転による巣鴨小学校区への対応を検討し、連携を促進するような施設としたい (学・教)

②多様性を大切にする学校

- ・年齢や障害の有無に関わらず、誰もが安心して過ごせる居場所がある学校としたい (子・教・地・フ)
- ・誰もが過ごしやすいバリアフリーやユニバーサルデザインな学校としたい (学・子・教・保・地・フ)
- ・多国籍な文化を大切にして、多様性を楽しめる学校としたい (子・フ)
- ・ひとりひとりの才能やポテンシャルが開花するような、興味関心に合わせて様々な体験ができる、多機能・高機能な環境を整備したい (学・地・フ)

③地域と一体となって子どもたちを育む学校

- ・小さな子どもからお年寄りまでの多世代が集い、交流できる、地域に開かれた学校とし、住み続けたいまちを育みたい (学・子・教・保・地・フ)
- ・地域のお祭り・イベント・スポーツなど地域と一体となる様々な活動が積極的に行える学校とし、地域の子に文化と伝統を継承していきたい (学・地)
- ・地域が一体となって、子どもたちの日々の学校生活を見守り、地域の子としてみんなで育みたい (学・教・保・地・フ)

④子どもたちや地域の人々が安心安全に過ごせる学校

- ・災害時に地域の防災拠点（地区内残留地区／避難場所／救援センター）として機能を発揮すると同時に、日常的な地域利用もできる学校としたい
(学・教・保・地・フ)
- ・防災公園（イケ・サンパーク）と日常時・災害時で連携したい (教・フ)
- ・地域交流と安心安全なセキュリティを両立した計画としたい
(学・教・保・地・フ)

3. 整備方針～こんな風につくりたい

【学校部分】

学校 全体	設え	<ul style="list-style-type: none"> ・三校連携の活動を促進する各校のシンボルや新たな地域の象徴となるものを表現する（学・地） ・木材や自然素材、豊かな採光など、子どもの五感が刺激される環境をつくる（子・保・地） ・見通しがよく、開放的で明るい校舎（子・保・地） ・最先端の学びや多様な活動を可能にする豊かな学習環境（学・子・保・地）
	機能	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一体となることに配慮し、成長段階に応じた学年のまとまりと学習環境を整備する（学・保・地・フ） ・地域開放エリア・放課後活動エリア・総合運動場機能など、それぞれの運用に配慮した学校エリアの安心安全な防犯・セキュリティの確保（学・子・教・保・地・フ） ・救援センターとしての防災機能の充実（広い空間の確保、防災備蓄倉庫の充実と分散配置、かまどベンチ、防災井戸など）（学・子・教・保・地・フ） ・子どもたちの放課後の居場所として、保護者も安心できる場所をつくる（学・子・保・フ）
教室 等	普通教室	<ul style="list-style-type: none"> ・共用部を含めた空間の自由度を高めた環境とし、様々な単位での学習が展開できるフレキシビリティに配慮したつくりとする（学・子・保） ・GIGAスクール構想やオンライン教育等の教育環境の変化に柔軟に対応できる設備や家具を整える（子・教・保・地） ・充実した広さの教室とし、教室内外には十分な収納と展示・掲示スペースを確保する（子・教・保・地） ・教室内外にクールダウンをはかるデン（洞穴空間）やアルコートを設ける（子・教）
	特別支援教室	<ul style="list-style-type: none"> ・温かみのある落ち着いた環境とし、普通教室と一体でインクルーシブな環境で学び生活できるようにする（子・教） ・十分な広さを設けると同時に、個の発達差に考慮して仕切りを行うことができるようとする（学・教） ・教室内外にクールダウンをはかるデン（洞穴空間）やアルコートを設ける（教）
	特別教室等	<ul style="list-style-type: none"> ・小中で共用できる諸室は、共同利用するなど効率的に利用できるよう工夫する（保・地） ・地域のイベントや学校行事等の練習ができる場所としての機能を確保する（学・子・保・地）

	学習情報センター・多目的室	<ul style="list-style-type: none"> • 学びの中心となるように、小中が一体で使えるよう配置すると共に、日常的に使いやすい動線を確保する（学・教） • 十分な蔵書と閲覧スペースを確保し、本に囲まれくつろげるカフェのような空間とする（子・保） • 子どもたちの自習やグループ学習など、静かな環境とにぎやかな活動など多様な活動に応じた場所を設ける（学・子・保）
諸室・共用部	管理諸室	<p>＜職員室＞</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小中・特別支援学級の教員が一同に集まることができる広さと座席数と見通しを確保した職員室とする（学・教・保・地） • 三校連携を促進するため、巣鴨小の教員をはじめ他校の教員が来校し連携することなどを想定したABW（アクティブラーニング）が可能な執務空間とする（学） • オンライン研修や巣鴨小と連携に考慮したリモート会議などに対応できる環境を整備する（学） • 教材作成、会議、打ち合わせ、情報交換、リフレッシュ、更衣、休憩、資料保管など、それぞれの活動・目的に相応しい環境をつくる（学・教・保） <p>＜会議室など＞</p> <ul style="list-style-type: none"> • 複数の小会議室を設け、個人面談や、相談室として使えるような個室機能を確保する（学・子・教・保）
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> • 明るく綺麗で使いやすく、プライバシーを確保した使いこちのいいトイレを整備する（子・教・保・地） • インクルーシブに配慮した多目的トイレを整備する（子・保）
	廊下	<ul style="list-style-type: none"> • 日常の移動動線となる、廊下や階段は安全で見通しのいい広さを確保する（子・教・保） • 子どもたちの作品や活動を展示するスペースを確保する（子・地） • ベンチやソファなどを設け、休み時間などでおしゃべりやくつろいだりできる居場所を設ける（学・子・地）
体育施設等	体育館	<ul style="list-style-type: none"> • 小中それぞれ一つずつ、合わせて2つ計画する（学・子・教・保） • 雨天時や猛暑に対応できる設備性能を備える（学・子・教・保・地） • 救援センターとしての高い防災機能をもたせる（学・保・地・フ） • 行事や多様なスポーツができる多機能性を確保する（子・教・保・地）

		<ul style="list-style-type: none"> ・大人数での利用を想定した出入口を計画する（教・地）
	プール	<ul style="list-style-type: none"> ・プールサイドを広くし、日除けなど暑さ対策に配慮する（教・保・地） ・小中9学年が利用するため、水深調整機能を持たせたプールとする（教・地） ・通年利用や地域利用ができるよう検討する（学・子・教・保・地・フ）
屋外	校庭、その他	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の西巣鴨中学校・朋有小学校（仮設校舎建設後）のグラウンド面積以上を確保する（学・教・子・保・地） ・校庭は、野球やサッカーなど様々なスポーツができるようにする（子・保） ・教室等から直接利用できるテラスやバルコニーを用意し、室内と連携して安全に利用できる教育環境を整備する（子・保） ・ビオトープや、池、飼育小屋など自然や生き物に触れあえる環境を屋上利用含めて計画する（子・保・地） ・畑（菜園・花壇）を整備し、食育につながる栽培活動が行えるようにする（子・保・地） ・子どもたちが交流したり、リラックスできる屋外スペースをつくる（子・保・地）
環境への配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・緑が多く自然を感じられる学校とする（地） ・既存の緑地をなるべく残すよう検討する（地） ・校舎全体が子どもたちの環境教育の場として利用できるよう、太陽光発電や雨水利用などの設備を導入する（保・地） ・自然通風など自然エネルギーを積極的に取り入れ省エネルギー化を図る（子・地）

【複合施設全体】

全体会にて協議するが、学校施設検討部会としての意見とする。

複合施設全体	整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する防災公園との連携を高める安全と安心に配慮した地域の拠点（学・保・地・フ） ・総合体育場との連携を活かした学校（子・保・地・フ） ・多国籍や身障者にも配慮した、インクルーシブな施設（バリアフリー、ユニバーサルデザイン）（子・保・地） ・地域コミュニティの拠点となる、誰もが安心して利用できる居場所をつくる（子・保・地・フ） ・誰もが利用できる、学習・執務スペースや交流の場をつくる（子・保・地）
--------	------	---

	土地の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育場へ改築されることに考慮し、周辺環境や地域の景観、地域動線に配慮した計画とする（地）
--	---------	--

同一中学校ブロックの巣鴨小学校に対する意見

巣鴨小学校に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 巣鴨小学校区への対応として、連携を促進する空間や機能等の改修を検討する（学・保・地） ICT環境の充実を図り、オンラインでの連携もしやすい環境を整備する（学・保） 特色ある教育環境の提供に繋がる空間等の整備を検討する（学・地）
-------------	---